

<発表資料>

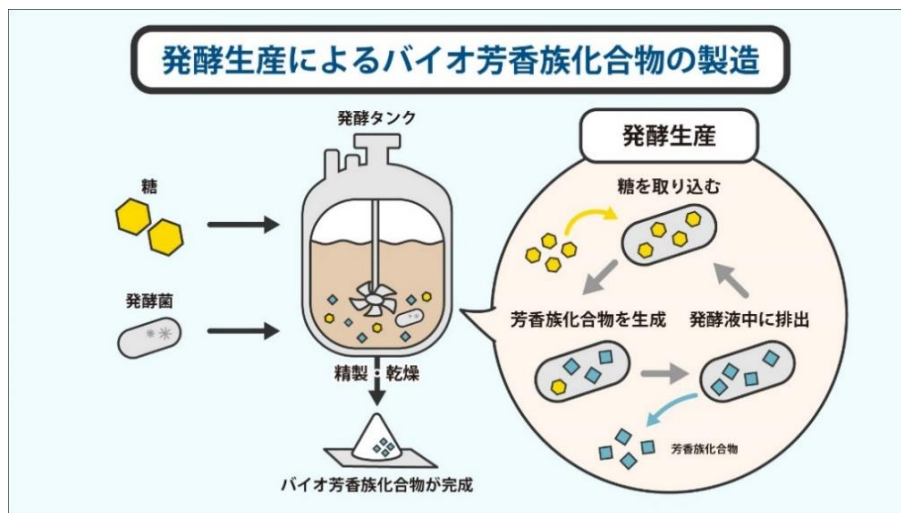
2023年12月13日 23120

発酵生産*1によるバイオ芳香族化合物「没食子酸」の販売開始 工業的に重要な化学素材を安定供給へ

花王株式会社(社長・長谷部佳宏)は、微生物を利用した発酵生産によって、糖からバイオ没食子酸*2を製造することに成功し、2023年12月から日本での販売を開始します。芳香族化合物のひとつである没食子酸(ぼっしょくしさん)は、酸化防止剤や半導体の回路形成の原料として使用されるなど工業的に重要な素材です。これにより、安定的な没食子酸のサプライチェーン構築をめざしていきます。

*1 微生物が体内で物質を作り出す性質を利用して特定の成分を作らせること

*2 従来の方法ではなく、発酵生産技術によって製造した没食子酸のこと



技術動画：[発酵生産で没食子酸が製造される様子](#)

1. 背景

没食子酸は、植物ポリフェノールのひとつで、ボイラー用防サビ剤や半導体の回路形成の原料などに幅広く利用されている工業的に重要な芳香族化合物です。しかし、現在はウルシ科植物にフシムシが寄生してできる虫こぶ(五倍子)から抽出して製造するため、収量が天候に左右されやすく、生産地も限定されています。没食子酸をはじめとする芳香族化合物を人工的に製造する際、複雑な工程が必要なため、これまでは商業的な製造例は限られてきました。花王は、長年培ってきた洗剤用酵素生産研究の知見を活かした発酵生産技術により、没食子酸を高効率で生産*3することに成功しており、このたび、バイオ没食子酸として販売を開始します。

*3 花王ニュースリリース 2023年3月31日 [バイオマスからの化学原料製造を可能にする発酵生産技術～微生物を用いてグルコースから芳香族化合物を高効率で生産することに成功～](#)

2. バイオ没食子酸の製品概要

製品名	GA-100 BIO
販売開始	2023年12月
販売地域	日本

3. 今後の展望

今後バイオ没食子酸は、アジアや欧州など海外での販売も予定しています。また、将来的には没食子酸以外の芳香族化合物の発酵生産も行う予定です。

花王のケミカル事業では、“未来の「人と地球と社会のきれい」を、ケミカルの力で実現”を志として掲げ、革新的な製品やソリューション提供を通じて顧客・環境・産業界の課題解決に取り組んできました。バイオ没食子酸やバイオ芳香族化合物の販売によって、さらにその取り組みを深化させていきます。

関連情報

- ・ 花王ニュースリリース 2023年3月31日 [バイオマスからの化学原料製造を可能にする発酵生産技術～微生物を用いてグルコースから芳香族化合物を高効率で生産することに成功～](#)
- ・ [ケミカル事業のバイオ製品ページへリンクします](#)

<消費者の方のお問い合わせ>

[花王株式会社 ケミカル事業部門お問い合わせ](#)